

提出予定日 5月18日 提出日 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 学生番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

問題10 球座標の連続の式

CVに対して6つの方向の→を描き、その量を示す

最初(t=t)のCVの ( ) 密度は一定、均一でないとする

$$r^2 \rho(r) \sin \theta dr d\theta d\phi$$

r方向の出入り

$$+ \frac{r^2 \rho(r) v_r(r) \sin \theta dt d\theta d\phi}{\text{_____}} - \text{_____}$$

θ方向の出入り

$$+ \text{_____} - \frac{r \rho(\theta + d\theta) v_\theta(\theta + d\theta) \sin(\theta + d\theta) dt dr d\phi}{\text{_____}}$$

φ方向の出入り

$$+ \text{_____} - \text{_____}$$

dt時間経過後(t=t+dt)の ( )

$$= \text{_____}$$

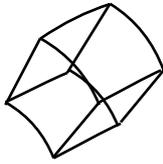
Taylor展開の適用

$$\rho(t + dt) = \text{_____}$$

$$(r + dr)^2 \rho(r + dr) v_r(r + dr) = \text{_____}$$

$$\rho(\theta + d\theta) v_\theta(\theta + d\theta) \sin(\theta + d\theta) = \text{_____}$$

$$\rho(\phi + d\phi) v_\phi(\phi + d\phi) = \text{_____}$$



球座標の  
連続の式

\_\_\_\_\_

密度が一定、均一とすると

\_\_\_\_\_

問題12 ( ) が ( ) とともに変化する過程を求める。

dt時間での水槽内のインクの移動量 (物質質量) を考える

t=tの水槽内の  
インクの量:  $VC(t)$

dt時間で水槽に  
入ったインクの量: \_\_\_\_\_

dt時間で水槽から  
出たインクの量: \_\_\_\_\_

t=t+dtの水槽内  
のインクの量: \_\_\_\_\_

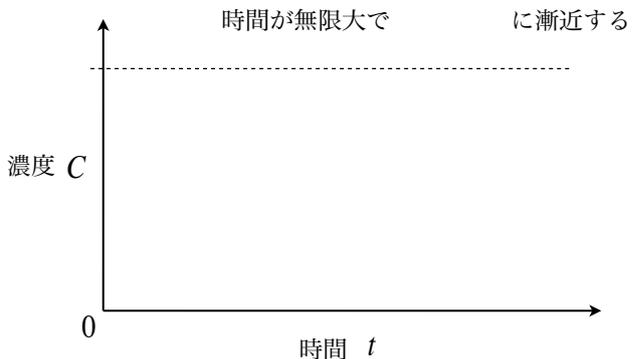
dt時間での水槽内のインクの量  
(物質質量) の収支

\_\_\_\_\_

解くべき ( ) 方程式  $\frac{dC}{dt} =$  ( ) 条件

C = \_\_\_\_\_

グラフに描く



設定されている数値を代入

t = \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

提出予定日 5月18日 提出日 \_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日 学生番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

問題13 水流の流速を $v$ とする。 $v$ は $z$ の面(断面)内で均一とする。  
 $v$ は重力により増加し、次式で表現される。

①

$z$ と $z+dz$ の間の微小領域に対して体積の収支を考える。

①式を代入して整理する

水流の表面の流速は表面に( 垂直 平行 )なので、明らかに流速は( )方向の成分も持っている。  
 それを導くためには、( )の式を用いる。

どの座標を適用するのか?

①式を代入して、 $v_r$ に対する微分方程式を得る。( )方向の微分は( )対称なのでゼロ!

積分して解を得る。積分定数は( )対称なのでゼロ!

問題14 ここでは濃度分布が( )に伴って変化しない。すなわち( )状態を設定している。

$x$ と $x+dx$ の間の微小領域における物質の収支を考える。

$$(x\text{の面から入る物質質量}) + (dx\text{の領域で抽出される物質質量}) - (x+dx\text{の面から出る物質質量}) = 0$$

解くべき( )方程式  $\frac{dC}{dx} =$  境界条件  $x=0$

$C =$

グラフに描く

